

明るいまち 迎春



前途洋々
～新中3年生の皆さん

広げよう、
ふれあいの心でまちづくり





新年のごあいさつ

社会福祉法人

新篠津村社会福祉協議会
新篠津村共同募金委員会

会長 原田志郎

新年あけましておめでとうございませう。村民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、コロナ禍も一段落して、計画通りの活動ができたと思えます。

昨年元旦に起きた能登半島地震の大災害から年が明け、1年となります。元旦の家族団らんや新年を祝っていた午後4時過ぎに、テレビの臨時ニュースで知ることにしました。災害は、時と場所を選ばず突然やって来ることを能登半島地震で思い知らされました。災害に対応する「知識や備え」をどのくらい持っているかが明暗を分けることになりました。村民から多額の災害義援金も集まりお礼申し上げます。

災害は、水・風・火災・地震が原因で起きますが、それらに対する「備え」を普段の生活の中に組み入れることが大事です。日頃から、防災意識を高めることを推奨します。各地の市

区町村の社会福祉協議会は、災害ボランティアセンターの窓口を担当することになっており、いち早く動き出さなければなりません。地域社会には、いろいろな人が住んでおります。災害に対して弱者がおり、避難の手助けや介助が必要な人がおります。弱者は地域の人が支えなくてはなりません。支え合う意識を広めることが福祉社会に繋がります。

福祉社会の実現は、平和で安定した社会の構築が大前提です。福祉を求める人や弱者に寄り添う気持ちは、決して争いの社会からは生まれません。平和な社会を維持し、継続することが大事であり、本年も平和な災害のない1年でありませう願わずにはいられません。

本年も役員は、心をひとつにし、福祉社会の充実に向けて努力して参りますので、村民各位からの一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

あけましておめでとうございます

社会福祉法人 新篠津村社会福祉協議会

役職名(共募理事・監事兼務)

会長	原田志郎
副会長	寺岡幸則
理事	安藤京子
	佐藤清美
	松澤雅英
	田中哲夫
	武田敏夫
	奥村保夫
	志賀陽子
	新居幸江
	小野寺泰子
	清田里美
	窪田智守
監事	加茂智教
	林恵二
	吉田光春
	大村厚子
	戸賀澤大輔
	鈴木木寿美
	吉田優菜
	坂本麗名
事務局	



新任のごあいさつ

職員 吉田優菜

昨年10月より社会福祉協議会でお世話になることとなりました、吉田優菜です。

大学卒業後、社会福祉士と精神保健福祉士の資格を取得し、今年9月まで足寄町役場で数か所の係を経験し、現在に至ります。約9年間、新篠津を離れていましたが、いつか自分の生まれ育った新篠津の役に立てたらと思っていましたので、この度、社会福祉協議会で働かせていただけることを光栄に思っています。専門職としては、公務員という職種の中ではありましたが、高齢者福祉や障がい者福祉など、様々な分野に携わってきました。今までの知識や経験を活かし、村民の皆様が少しでも暮らしやすい地域づくりに貢献していきたいです。まだまだ福祉職としても人間としても未熟者ではありますが、生まれ故郷で頑張っていきたいと思っておりますので、これからよろしくお願いたします。

心配いらず相談室

どんなことでもご相談ください。相談内容、個人情報厳守いたします。

●開催日 令和7年1月20日(月)・2月17日(月)・3月17日(月)

●時間 午前9時30分〜12時まで

●場所 保健センター

●電話番号 090-9439-6550

赤い羽根にご協力

ありがとうございました

目標額1,120,000円 実績額1,005,014円 達成率89.7%
令和6年度 赤い羽根共同募金実績

募金総額 1,005,014円

(内訳) 事業所関係	102,500円
団体・個人	89,715円
募金箱設置協力	53,501円
戸別募金(各自治会)	650,100円
ピンバッジ	109,198円

(令和6年12月20日現在)

赤い羽根共同募金については、全額北海道共同募金会に納入し、道地域目標額を除いて村に配分され、各福祉団体や社会福祉協議会の事業に使用されます。



小学校



中学校

歳末たすけあい募金

ありがとうございました

目標額460,000円 実績額415,924円 達成率90.4%
令和6年度 歳末たすけあい募金実績

募金総額 415,924円

(内訳) 各自治会	390,600円
団体・個人	25,324円

※歳末たすけあい義援金は次のように配分されました

低所得世帯	15件	277,500円
在宅寝たきり高齢者世帯	1件	18,500円
母子・父子家庭世帯	0件	0円
在宅障がい者	5件	92,500円
施設(グループホーム)	1件	27,424円

(令和6年12月20日現在)



あたたかな善意をありがとうございます

令和6年9月25日から令和6年12月20日までに

ご寄付をいただいた方々は、次のとおりです。

【香典寄付】

- 佐久間 洋 様 (ふらわ) 70,000円
- 故) 鈴木 みつゐ 様 (高 倉) 10,000円
- 高田 裕子 様 (北 新) 50,000円
- 佐々木 幸子 様 (東 明) 30,000円

【一般寄付】

- 植 島 美由紀 様 (みずほ) 50,000円
- 米 田 みち子 様 (ふらわ) 30,000円
- 北海道信用金庫ひまわり財団 様 (札幌市) 100,000円



新篠津支店長 藤井様
より贈呈

【指定寄付】

- 故) 鈴木 みつゐ 様 (高 倉)
第一老人クラブへ..... 20,000円

【物品寄贈】

- 北海道コカ・コーラリテール&ベンディング株式会社 様 (岩見沢市)
..... 清涼飲料水 240本



岩見沢支店長 俵谷様
より贈呈

新篠津福祉会様より

感謝状をいただきました

昨年10月25日に行われた新篠津福祉会50周年記念式典にて、新篠津福祉会様の事業に対し、永年協力支援をし、社会福祉の発展に大きく貢献したとして、新篠津村ボランティア連絡協議会(以下 ボ連協)が表彰され、代表として渡邊由理子顧問が感謝状を受け取りました。

福祉施設の行事等で、ボ連協会員の皆さんがボランティア協力をしてきたことに対しまして、称えていただきましたことに誠に感謝申し上げます。

今後も、福祉施設をはじめ、地域で必要とされることへ、ボランティア活動を通してお役に立てること、また、未永く活動ができるよう努めてまいります。



新規会員募集のお知らせ

現在、当社協関係団体では、新規会員を募集しております。ご興味のある方、詳しく知りたい方は、当社協にご連絡をお願いいたします。

- 新篠津村ボランティア連絡協議会
- 身体障害者福祉協会新篠津村分会
- 新篠津村老人クラブ連合会

☆ KID's コンタクト ☆

子育て支援センター 「Pops」より

今年度は、「ベビーマッサージ教室」や、お茶を飲みながら子育てについておしゃべりする「子育て元気カフェ」が新たに加わり、子育て仲間に出会え、親子で楽しめるイベントを行っています。

昨年11月2日に行われた「もっとわくわく木育ランド」は、石狩振興局による子育て支援事業の一環として行われたもので、たくさんのお親子が遊びに来ました。

保健センターに木のおもちゃがたくさん集まり、クイズに答えてガチャガチャをしたり、木の玉プールや魚釣り、積み木など、0歳の赤ちゃんから、小学生の兄弟たちまで、木のおもちゃに触れながら思い思いに楽しく遊びました。

また、12月16日に行われたクリスマス親子フォトイベントは、人数に制限はありましたが大変好評で、親子で思い出の一枚をプロのフォトグラファーの方に撮ってもらいました。



「元気カフェ」



「木育ランド」



「クリスマス親子フォト」



「ベビーマッサージ教室」

これからの予定として、「ベビーマッサージ教室」は、冬場の天候などを考え自宅でも気軽に行えるよう、1月、2月はオンラインで実施する他、通常の「親子のあそび場」「赤ちゃん教室」もありません。

今後も「きらり」では、いろいろなイベントを計画して、少しでも親子で楽しめ、子育て家庭のお役に立てればと思っておりますので、どうぞご活用ください。

老人福祉スポーツ大会にて、 「ボッチャ体験会」が行われました!

12月12日(木)に自治センター大ホールにおいて老人福祉スポーツ大会が開催されました。この大会は、老人クラブ連合会と社会福祉協議会の共同開催により実施しているスポーツ大会で、今年度はとうべつチャレンジドクラブ様を講師に招き、パラリンピックで注目されている「ボッチャ」の体験会を行いました。

老人クラブ会員を中心に45名の参加者となり、丁寧なルール説明とゲーム進行により、白熱したチーム戦が繰り広げられました。「しんしのつごはん こめっさく」さんのお弁当をお腹いっぱい食べてからプレイをした事もあって、会場には絶えず力のこもった声援と笑い声が響き渡っていました。



新篠津村共同募金委員会より令和6年能登半島地震災害義援金のご報告

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震災害義援金の受付状況についてご報告いたします。12月18日現在、総額 881,948円をお預かりしました。義援金はその都度、北海道共同募金会を通じて被災地の共同募金会に全額を送金しています。

多くの方のご理解とご協力を心より感謝申し上げます。

R6年度ピンバッジ完成!

募金活動の一環として毎年制作しております、赤い羽根共同募金のご当地ピンバッジの令和6年版が完成しました。今回も新篠津中学校にデザイン協力をしていただきました。共同募金委員会による審査の結果、最優秀賞に葛西翼希さん（1年）のデザインが採用されました。新篠津村のPRキャラクターのおこめちゃん、美しい夜空のもと、温泉に入って、くつろいでいる様子が、とつてもかわいらしく表現されています。



優秀賞 藤原瑛冬さん (3年生)
最優秀賞 葛西翼希さん (1年生)
優秀賞 山本紗和さん (2年生)

完成したバッジは、昨年11月より社会福祉協議会やたつの湯（ガチャガチャ）で取り扱っております。

次回の社協広報は
7月1日
発行予定です

ワンポイントメモ

「人生100年時代」

保健師 山本 寿美枝氏

最近読んだ記事で「いつまで働きますか?」という内容があり、大変興味深かったです。人生百年時代と言われ、長い人生をどのようにデザインしますかと聞かれたとき、長い期間を占める「働くこと」を、どのように位置づけるのかと問われているように思い、考えてみました。

学校を卒業後、働いて65歳頃に定年を迎え退職。そこから数十年人生が続くとして、どんな生活を過ごしたいか。

求められるのは「マルチステージ型」とのこと。会社勤め、学び直し、副業や起業、ボランティアなど、多様なステージを柔軟に移行しながら生涯現役であり続けることが「マルチステージ」であり、長い人生を自由に自分らしく生きる「コッ」だそう。

最近の仕事柄、たくさんの高齢の方が通いの場集まり、楽しそうに過ごされている姿をみかけます。私もそうなりたいと思い、その姿を目標とした時に、まずは心身の健康の維持のため、病気の予防とコントロールが一番大切だと、基本に戻ります。健診を忘れず、かかりつけの定期受診を続け、適度な運動と体調に合った美味しい食事と大切な睡眠。元気な心身を保ち、65歳以上になつた時に、できる範囲で仕事をしているかもしれないし、仕事以外の活動を充実させているかもしれない。そんな風に未来の生活を想像してみたら、年を重ねるのも少しワクワクしてきました。

明るいまち

No.120

令和7年1月1日

発行者
社会福祉法人 新篠津村社会福祉協議会
TEL 0126-58-3335・FAX 0126-58-3356
ホームページ: <https://www.shinshinotsu-shakyo.jp/>

☎068-1100
石狩郡新篠津村第47線北13番地
(保健センター内)

印刷 株式会社組合印刷



この広報紙は、共同募金の配分金をうけて発行しております。